

# は じ め に

学際科学実験センター長 浅野 雅秀

これまで6年間学長を務められた中村先生が退任され、この春から山崎新学長のもと、新しい執行部が発足しました。山崎学長はスピード感を持って、大学改革を断行するという一方で、YAMASAKI プラン 2014 を発表され、教員配置計画や部局長ヒアリングなど新しい施策も打ち出されています。学長のお考えが我々の現場に直接伝わらないこともあり、最初は戸惑いを感じましたが、この方向性が本学の発展につながることを願っています。

本センターは次の3つのミッションを持っています。①動物実験，アイソトープ(RI)実験，遺伝子実験及び精密機器分析の共同利用施設を適切に管理運営することにより、本学におけるこの分野の教育研究の円滑かつ安全な推進を図ります。②遺伝子改変動物分野，ゲノム機能解析分野，レーザー情報解析分野及び機器分析分野における先端的研究を展開するとともに、これらの技術を用いた研究支援を行います。③動物実験，RI 使用実験，遺伝子組換え実験のトレーニングコースを開催して学内外に実験技術の普及を図るとともに、学内外において講習会を開催してこれらの安全管理・教育に主導的な役割を果たします。また、動物実験委員会，放射性同位元素委員会，遺伝子組換え実験安全委員会，微生物等安全管理委員会などにおいて中心的な役割を担い、本学における研究面の安全管理に貢献します。以上の取組みを学際的に展開することにより、医薬保健学総合研究科と自然科学研究科の教育研究に貢献し、本学の「教育を重視した研究大学」の理念の実現を目指します。教員配置計画では「最先端技術の学際融合による分子～個体レベルでの疾患研究と診断・治療法の開発」を主要研究課題として掲げました。本センターの方向性をより明確にして、その実現に向けて邁進する所存です。

最後になりましたが、24-25 年度の国立大学法人動物実験施設協議会（国動協）の会長の任期を無事に終えることができました。2年間国動協事務局を支えていただきました医薬保健系事務部総務課・会計課の皆様にはたいへん感謝申し上げます。また、個人的なことですが、平成26年12月からは他大学に研究の場を移すことになりましたので、任期途中ではありますが、センター長を退任することになりました。7月からは新センター長の柴教授のもと、本センターが益々発展することを心から祈念しています。金沢大学における15年間の在職中にお世話になりましたすべての皆様に心から感謝申し上げます。